



10月の園だより

社会福祉法人 であいの里 さやま保育園
2024年 10月1日

＊＊保育目標 聞法 よくききます＊＊

- ・先生やお友だちのお話をよく聞き、自分の考えも言える。
- ・季節の変化に気づき、自然事象にも興味を持つ。

今月の行事予定

- 7・21日 礼拝 8日 わくわくコンサート
11日 川西保小連絡協議会 発育測定(11日 あひる・ひよこ) 15日 うさぎ・りす 16日 ぞう・きりん)
18日 いもほり(ぞう・きりん) (雨の時 25日)
21日 クッキー作り 22日 誕生会
24日 佐山地区人権の里集会参加(ぞう・きりん全員)
29日 避難訓練 11/1未満児おさんぽ参観日



【法話】 六つの心(迷いの心)

先月9月28日のきららドームでの運動会には、温かい御声援有り難うございました。「わくきら★スポッチャ」とキラキラネーム運動会で、みんなで考え計画し、猛暑のなか練習し、そして当日は、保護者と一緒に競技して応援するという笑顔いっぱい運動会になったことをうれしく思います。

私たちはみんな「心」をもっています。でも、その心は、一人一人みんな違います。そして私一人の心でも、一瞬一瞬ひとときも同じ心でいることはありません。仏教では、六道といって、私たちの心は大きく分けて六つに変わると説かれています。

- ・^{じごく}地獄の心(人を責めたりいじめたりする鬼のような心)
- ・^{がき}餓鬼の心(あれが欲しいこれが欲しいという心)
- ・^{ちくしょう}畜生の心(恩や恥を知らない心)
- ・^{しゅら}修羅の心(怒っているときの心)
- ・^{にんげん}人間の心(苦しいことがいっぱいの心)
- ・^{てんじょう}天上の心(大喜びで自分のことしか考えない心)

の六つです。

私たちの心は、朝から晩まで、生まれて死ぬまで、この六つを繰り返します。これが六道輪廻で、私たちの迷いの姿なのです。六道輪廻は、死後の輪廻ではなく、今、生きている時に輪廻しているから、それを迷いというのです。

迷いを迷いと知らずに生きている私たちが、この迷いの世界から出て、さとりの世界へと至る道を、仏教・仏道と言います。

合 掌

バッタの研究員

広場でバッタを見つけないちごぐみの男の子2人。早速飼育ケースに入れて保育室に連れて帰りました。保育室に到着するなり、飼育ケースから出して観察を始めました。

まず、バッタの種類はショウリョウバッタか？オンブバッタか？ずいぶん悩んでいました。名前は、ショウリョウバッタなら「しょうくん」オンブバッタなら「おんぶおんぶくん」にしたいようです。

足の本数は6本、触角は2本で、体の色は「くさいろ」だそうです。「おなかの色は白で一、はねもある。目が2個で赤くて横についていて、口は1個で、歯は…よく見えない一。」まだまだ続きます。「後ろの足が長くて、黒い模様とトゲトゲがある。」「あっ！何でものぼれるようにじゃない？」2人の気づきや想像力に感心した私は、「研究員さん、バッタの重さや大きさはどうでしょうか？」と続けてみました。「えーっと、体重は1キロくらいかな？」「身長はー…」と考えながら、担任にバッタの体長が測れる定規を借りに行き、測定開始です。2人は協力しながら触角の先から後足を伸ばした長さを一生懸命測っていました。結果は8センチ。

図鑑を見ながら、図鑑の写真の上に置いて大きさを比べてみたり、途中2度も保育室に飛んでいってしまうハプニングもありました。2人の熱心な研究のため、バッタは少し疲れた様子でしたが、無事に好きな食べ物の草が入れてある飼育ケースに戻されました。

「バッタとお話したら、パパとママに会いたいわって。」「イーンイーンって声が聞こえた」「一人じゃさみしいから。」と、夕方広場に返しに行ったとのことでした。

結局、オンブバッタかショウリョウバッタかはわからないままだったようですが、ずっと椅子に座り、見たり触ったり考えたり、バッタを深く知ろうとした子どもたちの姿は、まるで小さな研究員のようなものでした。

